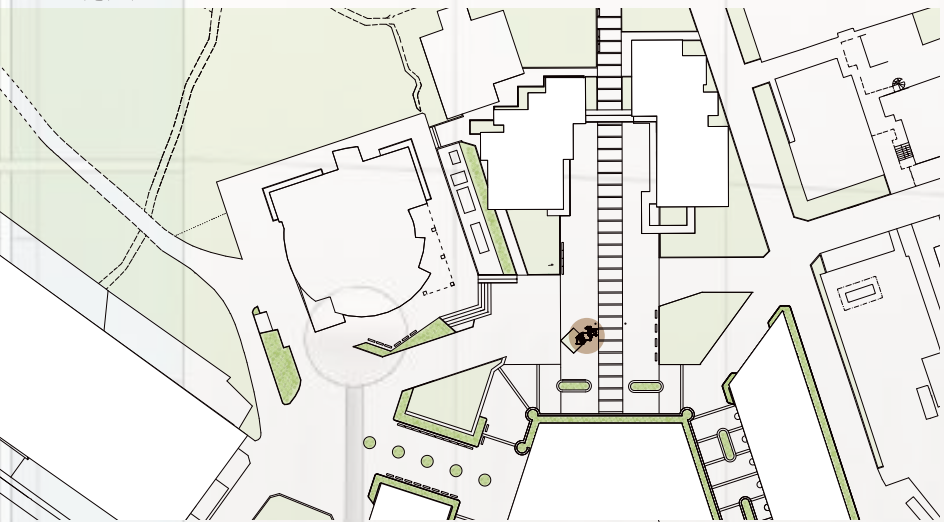


敷地



東洋大学川越キャンパス

木の居場所づくり

ー資源の見直し・活用で繋がるモクとヒトー

仲間たち

- | | | |
|-------|--------|-------|
| B4 | B3 | B2 |
| ・小寺彩乃 | ・幾井悠多 | ・樋上稜太 |
| ・堀江夏樹 | ・保坂実菜 | ・平塚涼佑 |
| ・和田拓真 | ・長岡涼 | |
| ・漆原壮一 | ・岩野沙也加 | |
| ・西條陸希 | ・下田楓夏 | |
| ・黒瀬俊介 | ・富井大翔 | |
| | ・滝浦啓叶 | |
| | ・山形尚生 | |
| | ・安藤実生 | |

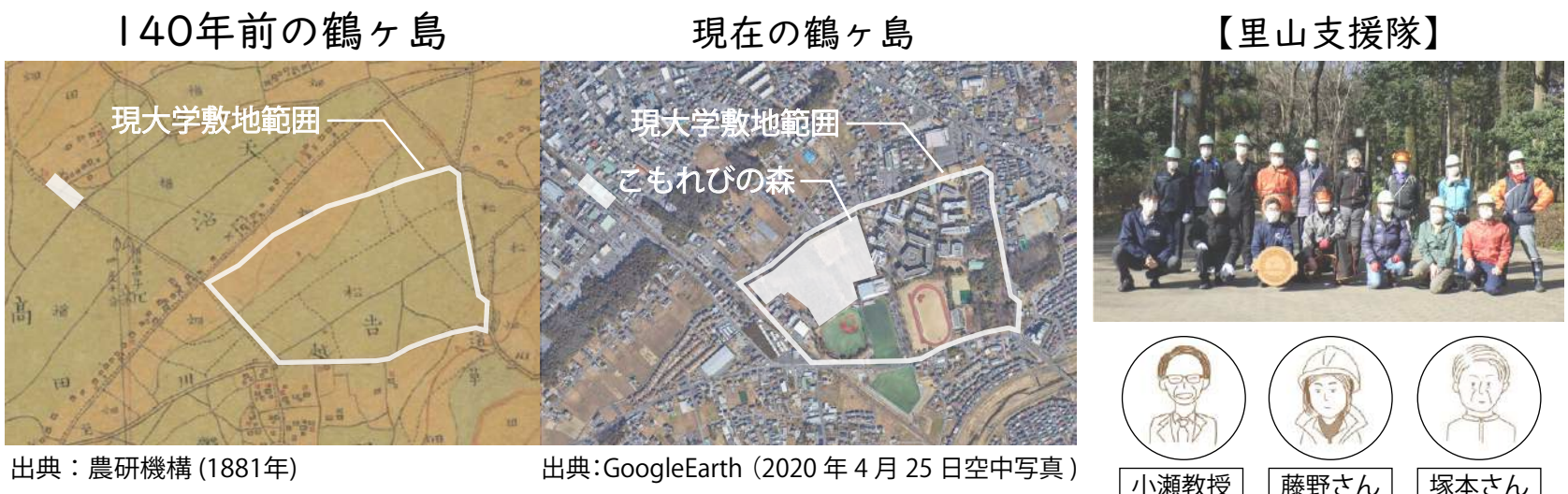
ご協力いただいた方々

- 綾部工務店 様
- 馬場 崇 様
- 神流川森林組合 様
- 上野村森林組合 様
- こもれびの森里山支援隊 様

- 東洋大学工藤和美研究室
- 東洋大学高岩裕也研究室
- 東洋大学岡本和彦研究室

1 きっかけ：活用の可能性をもつ木々

私たちの大学は、新田集落の跡地にあり、大学内には住民のものであった雑木林が残されています。現在大学内の木々は、里山支援隊によって維持・管理活動がおこなわれています。

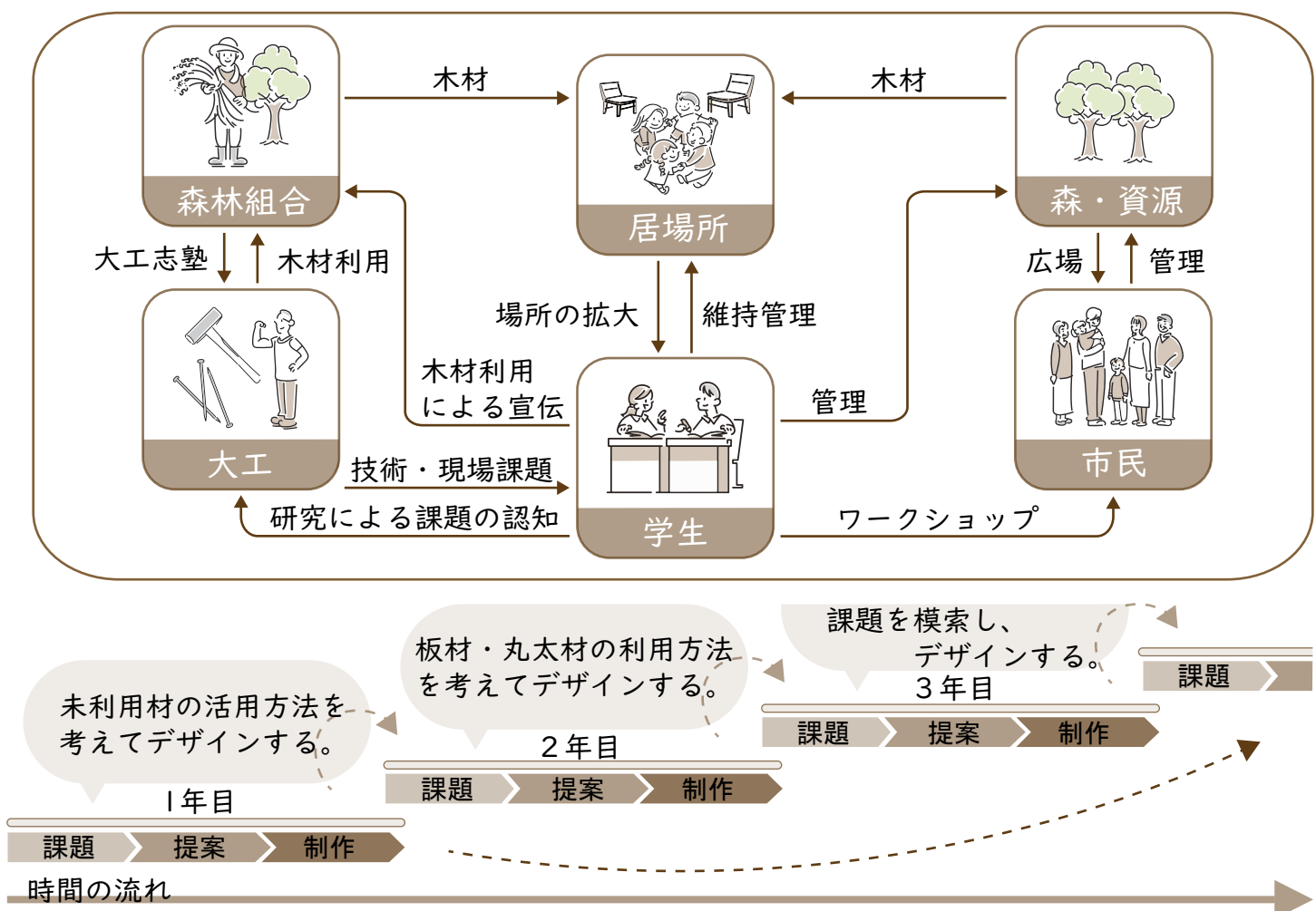


雑木林の用途変化と活用しきれていない現状



3 提案：モクとヒトの居場所をつくる

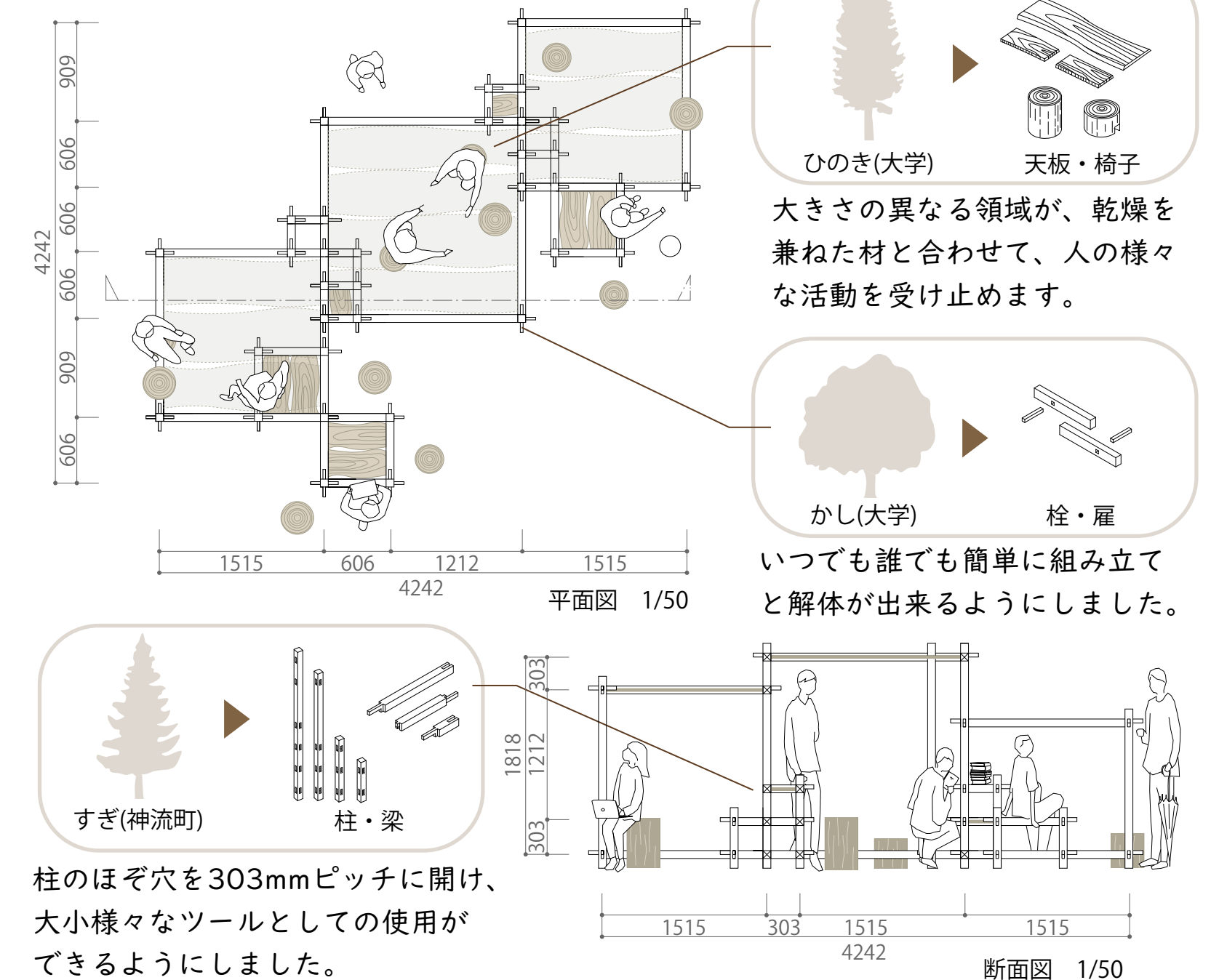
関わりと広がり



長期的に課題に取り組むことで地域社会との関係性を構築しながら、課題解決の方法を模索し、活用方法を確立していくことを試みます。

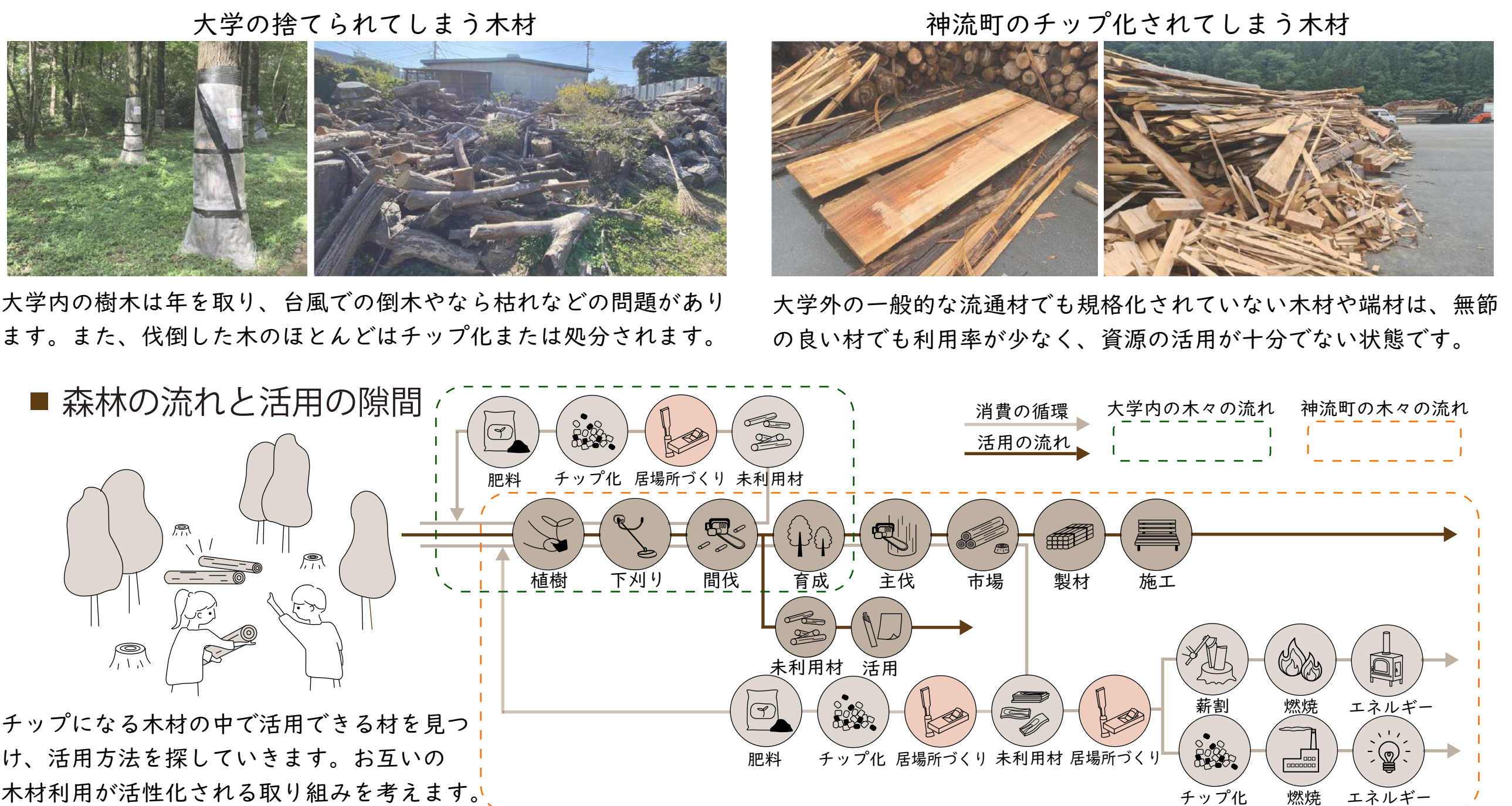
4 モクの居場所づくり

ヒトのモジュールに合わせたスパン



2 再考：本当に活用できない木材なのか？

活用方法が定まっていない木材は一般に流通を行う森林にもありました。これらの材は決して使えない材ではありません。これらの利用価値を高め活用方法を見つけるため、今回群馬県神流町にご協力をいただきました。「かなんすぎ」と一緒に利用して木の居場所づくりを行います。



今回の活動と寄り道



資源の循環を意識したデザイン

